

冬の朝、街には淡い霧が立ちこめ、通行人はコートをしっかりと締めながら足早に目的地へ向かう。近くのカフェがちょうど開店し、暖かい明かりが窓越しに街を照らし、通りすがりの人々を中へと誘っている。遠くの公園では、数羽の雀が葉を落とした枝にとまり、時折さえずりながら新しい一日を迎えているようだった。